



第6波に備えてコロナ対策を／小川駅西口再開発と新公共施設



第6波に備えて、今こそ、新型コロナウイルス感染症対策を

質問 ①小平市医師会PCR検査センターを早急に再開しては。②庁舎を活用し、食料品や生

市長 ①市内の検査体制が整っているので、小平市医師会との協議も踏まえ引き続き休止する。

②食料品はこだいら生活相談支援センターにおいて行っている。生用品は配布が終了し、今後の配布は予定していない。

小川駅西口地区市街地再開発事業と新公共施設について問う

質問 ①小川駅舎と再開発ビルの接続について、高低差をなくすための設計見直しへの見解は。

市長 ①法令等から見直しは困難である。ペダストリアンデッキの設計はバリアフリー整備基準を遵守し設計等を進めていく。

②個々の権利者の意向は把握していない。

③実施設計を進めており早ければ令和4年度に買入れの譲渡契約を締結予定である。施設引渡しは再開発ビル完成後となる。

【掲載分以外の質問項目】

○石綿の調査・除去・処理費用の助成制度を求める



令和3年11月に開催された小川駅西口地区市街地再開発事業のパネル展(写真は小平市役所1階で11月24日から26日に開催されたもの)



校則の見直しは子ども参画で／保育所等訪問支援の周知活用を



市立小・中学校の校則は子ども参画で見直しを

質問 ①国の通知、校則の見直し等に関する取組事例について

市長 ①校則の見直しについて、児童・生徒や保護者との意見交換は行われているか。

教育長 ①学校生活の決まりやルールは、新型コロナウイルス感染症の対応を含め様々な社会環境や児童・生徒の状況等に

②各校では生徒会や児童会活動を通し行われている。保護者にも学校の決まり等を理解してもらえよう努める必要がある。

保育所等訪問支援の周知と活用を進めよう

質問 ①小平市における保育所等訪問支援事業の概要は。

市長 ①児童福祉法に基づく障害児通所支援で、保育所等での集団生活適応のため訪問支援を行う。保育等の様子を観察し保

②市のケースワーカーが保護者、サービス提供事業所、訪問先の施設等と必要な連絡や調整を行い情報共有などしている。

小川西町地域の安全対策について

質問 こぶし通りと小川西グラウンド西通りの交差点はこぶし

市長 当該交差点の通過方法が浸透しておらず混乱している様子が見受けられるとのことであるため、今後、小平警察署と連携しながら交通ルールの効果的な周知方法を検討していく。

外国人も暮らしやすい小平に

質問 多文化共生プランを策定

市長 多文化共生プランを策定

外国人も暮らしやすい小平に



歩行者を守る取組について／市におけるeスポーツの取組



小平市の歩行者を守る取組について

質問 ①国の調査で危険度が2番目に高いBランクのバス停に

市長 都営バスの小川一丁目アポイント前などがあるが、過去5年間の市民からの訴えはあったか。

②通学路の危険箇所は、毎年、各小・中学校がPTAと連携し地図に記載していると思うが、市ではどう活用しているか。

市長 ①平成28年度以降、苦情等は受けていない。

教育長 ②学校から提出される危険箇所調査票に基づき、改善要望がある箇所は市や小平警察署等による通学路合同点検を行

必要に応じて対応を図っている。

小平市におけるeスポーツの取組について

質問 ①eスポーツが、障害者の視点で市にもたらす効果は。

市長 ①リハビリテーション等の効果を期待できるほか社会とつながりをつくるきっかけになる可能性があること認識している。

②現在eスポーツに関する具体的な検討はしていないが、市の施策として取り組むとすれば、地域活性化の効果や課題整理を含め、様々な側面から見極めていく必要があると認識している。

外国人も暮らしやすい小平に

質問 多文化共生プランを策定

市長 多文化共生プランを策定

外国人も暮らしやすい小平に

外国人も暮らしやすい小平に



部活動時の自転車利用／雇用を



市立中学校の部活動時の自転車利用と部活動指導員について

質問 部活動時の自転車利用についての今後の方向性は。

教育長 安全確保の観点から今後も部活動参加の移動は徒歩または公共交通機関の利用とする。

市内事業者で働く方の雇用を守るために

質問 ①雇用調整助成金を利用せず、雇用を守るべく取り組んだ事業者への支援金の創設は。

市長 必要設備のヒアリング等、協議していく。協議の実施時期等は現時点では未定である。

【掲載分以外の質問項目】

○道路の舗装について

用語の解説

※1 TOKYOワクシヨンは

東京都が実施する新型コロナウイルスワクチン接種促進キャンペーンのこと。アプリに登録すると様々な特典を受けることができる。

※2 ZEVとは Zero Emission Vehicleの略称で、走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車や燃料電池自動車などのこと。

※3 ツールとは 背もたれや肘かけのない1人用の椅子のこと。

※4 ネオニコチノイド(系農薬)とは ニコチンに似た化学構造を有する各種薬剤の総称のこと。

※5 ZEBとは Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、省エネや創エネにより建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

※6 補足給付とは 介護保険施設等を利用して

殺虫効果の持続性などの利点から広く使用されている。
Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、省エネや創エネにより建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。
※6 補足給付とは 介護保険施設等を利用している低所得者に対し、食費・居住費を助成する制度のこと。所得等に応じて設定される食費・居住費の標準的な費用額と負担限度額との差額が給付される。
※7 風致地区とは 都市の自然的景観を維持するため都市計画法で定められた地域のこと。